

令和8年度 日本獣医公衆衛生学会（東北地区）

日本獣医公衆衛生学会 学会長 丸 山 総 一

日本獣医公衆衛生学会東北地区 学会長 佐 藤 至

令和8年9月11日(金) **第3会場** 2階 リハーサル室

開 会	9 : 00
地区学会長挨拶	9 : 00
学 会 長 挨 拶	9 : 05
褒 章(奨励賞)	9 : 10
講 演(午 前)	9 : 20～11 : 40
ランチョンセミナー	12 : 00～13 : 00
講 演(午 後)	13 : 10～14 : 00
閉 会	14 : 00

〈講演・質疑討論要領〉

1. 講演時間は8分、質疑討論は2分以内とし、時間は厳守してください。
2. 演者の方は、発表開始の10分前までに次演者席へご着席ください。
3. 質疑の際は、必ず氏名および所属機関を述べたうえでご発言ください。
4. 質疑討論の進行は座長に一任されておりますので、指示に従ってください。

ランチョンセミナー

演 題 子牛への適切な飼養管理による薬剤耐性菌の発生リスク低減

講 師 エランコジャパン株式会社

ファームアニマル マーケティング部 課長

青木 俊介 先生

協 賛 エランコジャパン株式会社

講師プロフィール(略歴)

2006年	日本獣医畜産大学獣医学部獣医学科卒業
2006年	共立製薬株式会社
2015年	バイエル薬品株式会社
2020年	エランコジャパン株式会社

講演要旨

子牛は高率に呼吸器病、消化器病に罹患し、治療のために抗菌薬が投与される機会が多い。一方で、抗菌薬の使用機会が増加することで薬剤耐性菌が増加するリスクも報告されている。適切な飼養衛生管理による感染症の予防は、薬剤耐性菌のリスクを低減するための重要な対策となる。抗菌薬の慎重使用に関するガイドラインにおいても、飼養衛生管理の徹底による感染症予防の必要性が提唱されている。

抗菌薬の効力や有効性を評価するとき、薬物動態学 (Pharmacokinetics: PK) および薬力学 (Pharmacodynamics: PD) は重要な要素であり、C_{max}/MIC, AUC/MIC, %Time above MIC(%TAM) に代表されるいくつかのPK/PDのパラメータが示されている。また、細菌の耐性変異株の出現を抑制するためには、PK/PDパラメータを考慮した抗菌薬の使用が重要である。すなわち最小発育阻止濃度 (Minimum Inhibitory Concentration: MIC) に加えて、耐性変異株出現阻止濃度 (Mutant Prevention Concentration: MPC) および耐性変異株選択濃度域 (Mutant Selection Window: MSW) について考える必要がある。

今回、代表的な飼養管理として、出生当日の子牛に給与する初乳の重要性、出生翌日以降の子牛に対する移行乳の有用性を中心にご紹介する。また、フルオロキノロン系抗菌薬を例に、理論に基づいた抗菌薬の使用についても取り上げたい。

令和8年度 日本獣医公衆衛生学会（東北地区）プログラム

座長：野口みき（福島県動物愛護センター）

(9:20～9:30)

1. 青森県において収容された猫の致死処分及び譲渡頭数の推移とその考察

○佐々木慎哉、齊藤裕夕、藤本道志、松坂千亜紀

青森県動愛センター

(9:30～9:40)

2. 人と猫との共生に関する条例施策の効果検証と猫捕獲地点の空間・経年分析

○茂野 悟、橋本修子、畠山 拓、川島 綾、結城章太郎、石坂美樹、釜谷大輔

仙台市動管センター

座長：釜谷大輔（仙台市動物管理センター）

(9:40～9:50)

3. 秋田県動物愛護センター県南支所における通報対応の現状と課題

～組織改編に伴う相談傾向の変化と多機関連携の重要性～

○須田朋洋、本間康一、齋藤由奈

秋田県動愛センター県南支所

(9:50～10:00)

4. 牛の外部検証微生物試験に基づく衛生指導について

○藤倉玲奈¹⁾、佐藤空見子¹⁾、萩生田裕文¹⁾、三浦友洋¹⁾、漆山尚也²⁾、大橋 純³⁾

1) 山形県庄内食衛検、2) 山形県置賜食衛検、3) 山形県食安課

..... 休 憩 10:00～10:10

座長：井上 治（青森県食肉衛生検査所）

(10:10～10:20)

5. と畜検査における迅速病理切片作製法の検討：EBLの診断法として

○野中基弘、大貫典子

山形県置賜食衛検

(10 : 20～10 : 30)

6. 全身性血管腫症と診断された馬の一症例

○渡辺真弓

福島県食衛検

座長：大貫典子（山形県置賜食肉衛生検査所）

(10 : 30～10 : 40)

7. A食鳥処理場における緑色肝の病態調査および臓器由来菌の年次比較

○菊池普貴子、菅原 薫、阿部増美、金子和華子、關口信一、菅原政俊、石母田英明、
小島信子

(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター

(10 : 40～10 : 50)

8. 肉用鶏に発生した季節性脾腫の病理・病原学及び疫学調査

○牧野美紀、齊藤伸明、菊池祐浩、茂木洋子、森田 靖、高橋 史、阿部増美、
金子和華子

(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター

..... 休 憩 10 : 50～11 : 00

座長：八重樫良（秋田市食肉衛生検査所）

(11 : 00～11 : 10)

9. 筋胃及び回腸重複嚢胞を含む肉用鶏の消化管重複嚢胞の8例

○阿部増美、茂木洋子、渡邊一生、斎藤伸明、高橋 史、倉持 好、北川 睦

(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター

(11 : 10～11 : 20)

10. と畜場搬入牛から分離された *Trueperella pyogenes* の病原因子遺伝子及び薬剤耐性
調査

○會田淳也、安藤知弘

山形市食衛検

座長：佐藤 至（岩手大学獣医学部）

（11：20～11：30）

11. 健康肥育豚が糞便中に保有する大腸菌の調査

○萩生田裕文¹⁾、藤倉玲奈¹⁾、佐藤空見子¹⁾、永井章子¹⁾、須藤亜寿佳¹⁾、森山 遥²⁾、
岡谷友三アレシヤンドレ²⁾、森田幸雄³⁾

1) 山形県庄内食衛検、2) 麻布大・公衆衛生学第二、3) 愛知みずほ短期大

（11：30～11：40）

12. 豚腸炎における肉眼所見とサイトカイン遺伝子発現量の関係

○岡田珠里亜¹⁾、奈良英利²⁾

1) 宮城県食衛検、2) 石巻専修大学

..... 昼 休 み 11：40～13：10

（12：00～13：00）

■ ランチョンセミナー ■

テーマ：「子牛への適切な飼養管理による薬剤耐性菌の発生リスク低減」

講 師：青木俊介 先生（エランコジャパン株式会社）

提 供：エランコジャパン株式会社

座長：千葉 正（岩手県食肉衛生検査所）

（13：10～13：20）

13. サルモネラ属菌検出試験における新PCR法導入に伴う妥当性評価について

○新井靖人

福島県食衛検

（13：20～13：30）

14. O抗原型別不能となったサルモネラの全ゲノム解析

平澤葉奈、○藤原正俊

岩大

(13 : 30～13 : 40)

15. 緑膿菌感染患者より分離された緑膿菌の病原因子に基づくグルーピング

○大原優雅¹⁾、佐野隆之¹⁾、山崎浩平¹⁾、北川浩樹²⁾、今井一男³⁾、市村辰太郎³⁾、
萩谷英大⁴⁾、柏本孝茂¹⁾

1) 北里大学、2) 広島大、3) 埼玉医大病院、4) 岡山大病院

(13 : 40～13 : 50)

16. *Edwardsiella tarda* 毒素遺伝子の鉄濃度依存性発現制御機構

○渡邊清照、筒井沢哉、山口拓也、田川萌子、山崎浩平、柏本孝茂

北里大学

(13 : 50～14 : 00)

17. *Vibrio vulnificus* 腸管感染モデルを用いた定着因子の探索

○堀江遊五¹⁾、山崎浩平¹⁾、本田樹莉¹⁾、下畑隆明²⁾、柏本孝茂¹⁾

1) 北里大学、2) 福井県立大